

2010・3・16

九条の会

第134号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

宗教者、農協関係者の中での活動も交流

東北ブロックの交流集会開く

東北6県の九条の会の交流集会が、2月20日仙台市で開かれ、会場いっぱいの170人が参加しました。

午前の全体会では、「九条の会」事務局の高田健氏が、今年はより密度の濃い交流をするためブロック別に交流集会を開いていることを説明しました。

つづいて各県からからの報告がおこなわれました。秋田の「宗教者九条の和」は、年1回の講演会や新聞の発行などをつうじ、会員が寺院や教会の主管75人と信者31人に広がっていることを報告。宮城県の「農協九条の会・準備会」からは、「太平洋戦争で農村は兵士の供給基地・食糧基地とされた。農村でこそ九条を守る運動を発展させたい」と県内14の農協関係者によびかけ、すでに12の組合長経験者がよびかけ人を引き受けている、農作業が一段落する7月の結成をめざして活動していることが報告されました。

宮城県の「憲法九条を守る首長の会」の川井貞一会長（前白石市長）は、「住民の安

全と福祉を第1に考える首長の仕事を遂行するためには、憲法9条を守り抜くことが大切」と強調しました。

1人1人との対話を重視して

午後は4つの分散会に分かれてお互いの活動を交流。

○町内会長、老人クラブ、婦人会、商店会長ら広範な人びとによびかけ人となることを依頼、60人が承諾して06年12月発足。月2回の事務局会議を定例化し、「会だより」を発行するとともに、これまで3回の全戸配布のビラ入れをしたが、住民との対話重視している。最近街をあるいていると、「9条は絶対守らなければ」「今年もがんばってな」と声をかけられるようになっている。**(秋田県・土崎九条の会)**

○過疎化に悩んでいる地域で、時には外部から講師をよんで学習しながら継続的に署名運動に取り組んできた。現在の署名状況は、戸数で589戸（全戸数比96%）、筆数1550（有権者比71%）。**(山形市・憲法9条を守る西山形の会)**

○毎月の定期的な世話人会開催とニュース「たより」の発行中心に継続的に活動し

ている。小学校区単位の「会」としては主婦や若者に働きかける活動を具体化したい。安定した財政も課題。**(岩手県・憲法9条を守る古館の会)**

○よびかけ人の中には町長、元議長、診療所長などもいるが一町民として協力している。地域訪問活動、町の商工会などの菜の花祭り、医療生協のゲートボール大会、戦争体験者の話を聞く会などでよびかけ、住民過半数の署名を達成した。この間、町の合併問題がおこったが、この動きから自立することによって署名賛同者も急増した。

(山形県・みかわ九条の会)

なお、九条の会の交流集会の終了後、「首長交流会」が開かれ、「首長の会」を東北6県に広げていくことなどを話し合いました。

大阪の宗教者がパレード

大阪宗教者九条の会は2月27日、大阪市中央区の北御堂（浄土真宗本願寺派津村別院）と南御堂（真宗大谷派難波別院）でつどいを開きました。約200人が参加し、つどいの後、御堂筋をパレードしました。

つどいでは念仏者九条の会の石崎博敏氏が「戦争賛美の時代もあったが、親鸞の事実・現実から出発し、命を大切にすることを運動しよう」と開会あいさつ。宗教学者の信楽峻磨氏が「戦中派の遺言」と題して記念講演しました。

「科学者の会」が5周年記念のつどい

九条科学者の会は3月14日、結成5周年のつどいを開き140人が参加しました。

集会では渡辺治・一橋大学教授が「新しい情勢の下での九条運動」と題して記念講演し、民主党は「国民の運動の力と財界・

アメリカの圧力の間で動いている」と指摘しました。

活動交流では、「楽しく、目標掲げて、できることから」と学習会など多彩な活動を行っている神奈川県科学者、メールのやりとりをつうじて科学史・技術史分野で九条の会をたちあげた研究者、他大学との交流しながら活動すると励まされるという学生のグループの発言もありました。

集会では各大学・研究所の九条の会の連絡・交流・協力のネットワークづくりに積極的な役割を果たすことを確認しました。

草の根から多彩な運動を展開

【長崎市・城山憲法9条の会】 2月27日、結成5周年のつどいを城山カトリック教会で開きました。

同教会のヒルデン神父が講演。憲法9条は理想であり、世界は理想を求めていると述べました。パネルディスカッションでは、高校教師が国民投票法について、歯科医師がイラクを訪問した体験を語りました。

【神奈川県・箱根九条の会】 2月7日、箱根湯本駅前の河川敷で、「憲法9条を守ろう」のパネル宣伝をおこないました。

10枚の大パネルを掲げると駅を発着するロマンスカーや国道を行き交うバスから手がふられました。泊り込みの会議に参加していたという女性5人が、「写真をとらせてください」と話しかけてきました。

【北海道・岩見沢九条の会】 2月8日、氷点下5度のJR岩見沢駅で、沖縄の普天間基地問題や「抑止力」という言葉のもつ危険性などについて訴えました。86歳の女性も参加してビラを配ると「友達と読んでみる」と女子高生が受け取っていきました。